

## 北九州市議会 定数4減へ

### 共産除く3会派 17年実施で一致

北九州市議会（定数61）市議会（11人）も次回市議選の定数削減問題で、最大会派の自民党市議団（片山尹団長、21人）は11日、団会議を開き、来年の2月定例会で決立する公算が大きい。2017年の次回市議選から定数を4減する条例改正案の提案を目指す方針を決めた。主要4会派のうち、民主・社民系のハートフル北九州（12人）、公明党

市議団（11人）も次回市議選からの4減を求めており、過半数を占める3会派の賛成により、2月定例会で可決・成立する公算が大きい。同市議会の定数削減は1増4減した09年の市議選以来。今回は門司、小倉北、若松、八幡東の各区で1ずつ削減する予定。定数をめぐっては今年3

が見送られてきた。12月定例会でも議員提案はなく、実施時期を次々回（21年）に先延ばす妥協案が浮上。自民、共産の幹部が水面下で協議を続けつつも、共産は「次回でも次の回でも反対」（幹部）との姿勢を変えず、自民側

も「多数決で決めるしかない」（幹部）とかじを切った。自民の方針決定についてハートフルの世良俊明代表は「二つの区切りが付いたと評価している」。公明の吉河節郎団長は「公共施設の統廃合など市民に痛みを

強い改革が始まる中、議員も自ら範を示す必要がある」と述べた。一方、共産の石田康高団長は「有権者の声を市政に反映させるためには今の61議席が必要。改正案が出ても反対する」と話した。（野村創、清水恵美子）

## 北九州市議会 定数4減へ

### 主要3会派、2月に議員提案



北九州市議会の自民党、民主・社民系系のハートフル北九州、公明党の3会派は、次回の市議選から、現在61の議員定数を4人減らして57とする条例改正案を、来年2月の定例会で議員提案する方針を固めた。3会派は本会議で多数を占めており、賛成すれば定数削減が決まる。

議員定数を巡っては、門司（現定数7）、小倉北（同12）、若松（同6）、八幡東（同5）の4選挙区で定数を1ずつ減らす4減案を3月、3会派と共産党が参加した「議会改革協議会」が示した。3会派は合意したが、共産は現状維持を求めている。4会派一致をめざして調整を続けていたが、断念した。

共産以外の3会派は、2012年に定数削減を求め、直接請求に約4万8千人の署名が集まったことなどを理由として、定数57が最適としている。

# 議員定数削減

概ね

# 決定!

## 議員定数削減への署名に、ご協力ありがとうございました。

共産党を除く主要3会派は平成29年1月の市議会議員選挙より議員定数を4名削減することを決めました！（正式決定は平成28年2月議会です）

削減区は門司区、小倉北区、八幡東区、若松区です。削減を決めた自民党、ハートフル北九州、公明党の議員に感謝いたします。もちろん、もっとも感謝すべきは暑い中、議員定数削減の署名活動のご協力をいただいた市民の皆様です。

今回の議員定数削減は、市民の皆様の「5万人」を超える署名が議会を動かしたという、過去に殆どないような出来事であり、まさに民主主義の象徴のような出来事だと思います。

## ●議員定数削減までの経緯

- 平成20年12月 北九州市がこのままでは平成25年には夕張市のように財政破綻することが推計される。
- 平成23年 1月 市民アンケート調査(回答者2,366人)では3/4の方が北九州市の議員は多すぎると回答。また、他の政令指定都市と比べてみると、北九州市は議員1人あたりの人口は16,084人、19政令指定都市平均21,419人、同規模政令指定都市平均(90~130万人)では19,584人であり、政令指定都市平均と比べて北九州市の議員定数は多いことがわかる。
- 平成23年 3月 所属会派自民市民クラブのメンバーに議員定数削減の相談をするが了承が得られず、議員定数削減を実行するために自民市民クラブを離脱、一人会派「議員定数削減北九州」を結成する。
- 平成23年 9月 書面により全ての会派に議員定数削減の要望書を渡す。
- 平成23年12月 9月に渡した要望書の回答を確認するが前向きな回答を得られず。(公明党は比較的前向きな回答)
- 平成24年 7月 市民の皆様のご協力で1ヶ月間という短い期間で54,701筆の署名が集まる。  
(直接請求に必要な署名数は16,000筆)
- 平成24年 9月 議員定数削減案が上程される。中村よしお以外は全員反対の60対1で否決される。
- 平成24年12月 自民党・ハートフル北九州・公明党・共産党の主要4会派は今回議員定数を削減しないかわりに①2年間議員報酬年100万円減額、②政務活動費を月3万円減額、③費用弁償廃止、④海外視察を減らすことを決める。総額年間約1億2,000万円の削減効果。
- 平成25年 2月 中村よしおは議員定数削減を実現させるためにハートフル北九州に入会。  
主要4会派で構成する議会改革協議会で2年間かけて再度議員定数削減について議論することになる。(2年間は議員報酬が年間100万円減額)
- 平成27年 3月 議会改革協議会にて共産党を除く主要3会派は議員定数4名削減することを決定し代表者会議に報告する。今後は代表者会議で議論することになる。議長は「6月議会で議員定数削減条例案を上程したい」と語る。
- 平成27年12月 自民党・ハートフル北九州・公明党各代表者が次期市議会議員選挙で議員定数を4名削減することを決定する。(共産党は反対)  
平成28年2月議会にて議員定数削減条例案を上程する予定。



### 中村よしおプロフィール 作業療法士(リハビリの専門職)

- 昭和39年5月12日生まれ(51歳)
- 徳香幼稚園、横代小学校、横代中学校、小倉南高校(テニス部)を経て国立療養所福岡東リハビリテーション学院作業療法学科を卒業(作業療法士免許取得)
- 民間医療機関で作業療法士として7年間勤務
- 1993年北九州市役所に入職(10年間勤務)
- 2003年4月小倉リハビリテーション学院作業療法学科教務部長
- 2005年1月北九州市議会議員選挙に挑戦、初当選
- 2009年2月北九州市議会議員選挙2期目当選
- 2011年4月新会派「議員定数削減北九州」結成
- 2012年8月議員定数削減54,701名の署名を集め、直接請求を行う
- 2013年1月北九州市議会議員選挙3期目当選
- 2013年2月ハートフル北九州入会

〈役職〉

北九州市ソフトボールスポーツ少年団顧問/小倉南北少年ソフトボール連盟顧問/小倉南北小学生バレーボール連盟会長/小倉区剣道連盟顧問/北九州市食品衛生協議会顧問/勝山足立ライオンズクラブ会員/小倉北美術連盟顧問/(社)福岡県作業療法協会顧問/小倉北消防団第3分団顧問/足原校区まちづくり協議会会長/足原校区自治連合会長/足立北町内会長/社会福祉法人理事/NPO法人理事/第64代小倉高校野球部父母会長/元小倉北区中学校PTA連合会長/元霧丘中学校PTA会長/元足原小学校PTA会長/保護司/日本パーテナー協会北九州支部顧問

**中村よしお事務所** 〒802-0043  
北九州市小倉北区足原2丁目1-39  
**TEL (093) 932-8533 FAX (093) 922-8277**  
E-mail●nakamura-y3226@nifty.com URL●http://www.nakamura-yoshio.jp/

